

2026 年度 編入学試験(後期) 小論文〔出題意図〕

三宮真智子『メタ認知』

設問 1 この文章の内容を要約しなさい。(300 字以内)

設問 2 この文章の内容を踏まえて、自分の考えを述べなさい。(500～600 字)

【出題意図】

問題文は三宮真知子著『メタ認知』から、やる気の源泉を心理学的に説明し、やる気を出すためにはこれらの知見を元にメタ認知コントロールすることが有効であるという部分を提示している。

設問 1 は要約を求めている。要約をするためには適切に文章の内容を理解することが必要になる。こうした読解力は、大学での学びについて必要不可欠なものであるので、それを問うている。

設問 2 はそれを踏まえた自身の考えを述べることを求めている。問題文が扱っているのは「やる気の源泉についての心理学的理解」である。受験生にとっては自分自身の「やる気」が「出る／出ない」という体験は必ずあることから、考えやすい素材だと思われる。さらに、この間に答えるためには自分自身を客観的に振り返って考えること(メタ認知)が必要である。自分自身の心理を客観的に捉え、意識的にコントロールしていく「メタ認知による自身のコントロール」が出来るか否かは、入学後の大学生活にとどまらず、卒業後の社会生活において不可欠な思考である。そのため、単に提示された課題に対して論理的に考える力を見るだけにとどまらず、このような思考方法を学んでほしいという教育的な意味合いも込めて、この問題文を選び、出題している。